

G-LUSTER とは？

A

グラスターコート(以下Gコート)は、1997年に世界で初めて開発された、常温硬化型無機系コーティング剤をベースに、自動車塗装面の保護用として、専用に設計された商品です。数年に亘る実車テストを経て商品化され、数千台に及ぶ施工実績を基に、改良を重ねて参りました。光沢保持性、防汚性、耐紫外線、耐薬品性などに優れ、WAXや樹脂系ポリマーコートの数倍以上の保護性能を発揮します。

試験データ、豊富な実車テストデータ、メンテナンス性、など、他社製品を上回る、充実したノウハウが特長です。

G-LUSTER 5大特長の補足説明です。

- *1 サンシャインウェザー促進対候試験(紫外線と水噴霧の繰り返し)で、2年以上の撥水、及び7年以上の光沢保持性能を確認。(実際には、保管場所や洗車状況、黄砂などの要因によりデータを下回る場合が多い)
試験データより、WAXの5~10倍、樹脂系ポリマーコートの3~5倍が、撥水、光沢保持性能の目安です。
- *2 水洗いだけで殆どの汚れは落ちますが、油性の汚れは完全には取れません。中性シャンプー(ノンシリコンタイプ)での洗車が最も効果的です。また、ウォータースポット(主に水道水や地下水に含まれるミネラル分が付着したもの)はGコートでも付着します。早期の付着物は専用クリーナーで除去出来ますが、時間が経つと、研磨しないと除去出来ません。(コーティングもダメージを受けます) 洗車や降雨の後には、出来るだけ早目に水滴を拭き取って下さい。
- *3 WAXや樹脂系ポリマーは、高温になると軟化し、傷や汚れが付き易くなります。Gコートは、直射日光下でも軟化せず、紫外線による劣化も殆どありません。あらゆる条件下で、安定した塗膜保護の性能を発揮します。
- *4 Gコートは、無機コーティング表面に有機撥水其(アルキル其)を化学的に付加した、特殊な構造をもっています。WAXなどの付着性皮膜のように、洗車の度に撥水性能が低下することが無く、シャンプー洗車でも撥水性能は低下しません。(紫外線や黄砂などの堆積物、擦り傷などの物理的な要因により徐々に撥水其は不活性化します。)
* 撥水其は専用のリンス剤で簡単に復元できます。
- *5 対物事故に遭われた場合は、加工証明書と再加工の見積書を保険会社に提出してください。殆どの保険会社で無機系コーティングの価格相場は認知されています。自損事故の場合は、下記の「保険での扱い」をご参照下さい。

G-LUSTER Q&A

Q

A

なぜWAXやポリマーより長持ちするのですか？

炭素Cを骨格とする有機化合物の結合エネルギーはそれ程強くはありません。紫外線などの影響で容易に酸化が促進され、劣化します。Gコートの骨格であるシロキサン結合(Si-O-Si)は強く安定した結合で劣化し難いのです。

Q

A

汚れや、ウォータースポットは付かないのですか？

緻密なコーティング面が、付着した汚れの浸透を防ぎ、シャンプー洗車で殆どの汚れはキレイに落ちます。しかしウォータースポットの原因であるミネラル分は、付着するとコーティング面に密着してしまいます。水に溶けたミネラルが水が蒸発する際に結晶化して付着するのが、そのメカニズムです。防止するには、洗車後や降雨のあと、水滴が乾く前に拭き取るしか方法がありません。早期のウォータースポットは専用クリーナーで除去することが出来ます。

Q

A

コーティングは何年持ちますか？

屋内駐車加工証明書の注意書きを守って頂ければ、試験データに近い性能が発揮されるはずですが、実際は黄砂や鳥糞など、様々なアルカリ物質の影響や、ウォータースポットなどの付着物、更に、拭き傷などが原因で試験データの50%位が平均的な評価です。又、屋外駐車の場合、ボンネット、ルーフなど、直射日光が強く当たるパネルは、撥水性能に関してのみ6ヶ月位で急激に低下します。(有機其の撥水其部分が紫外線の影響を受ける為、無機コーティング本体には、直射日光の影響はありません。) * 撥水其はリンス剤で簡単に復元できます。

Q

A

洗車機に入れても大丈夫ですか？

Gコートの硬度は3Hくらいです。(コーティングする塗膜自体の硬さにより多少硬度が変わります。)砂埃がついたまま乾拭きしたりブラシ洗車機(スポンジブラシも含む)に入れると、砂埃が研磨剤となり、少しずつ傷が付きます。施工後1ヶ月で洗車機の使用はOKですが、上記の理由で性能低下を早める要因になります。コーティングを長持ちさせたい方は、中性シャンプーによる手洗い洗車がお勧めです。

Q

A

保険での扱いは？

アクセサリパーツと同様に考えて下さい。車両保険では、事前に届け出がないと、保険金が支払われ無い場合があります。対物事故の場合は、施工証明が出来れば補償の対象になります。金額については明確な基準がないのが現状ですが、ポリマー加工の2倍くらいの請求が可能ようです。

A

コーティングは、1μに満たない薄膜です。加工技術とコーティング剤の性能が複合することにより、初めて優れた効果を発揮するものです。更に、カーオーナー様のお手入れによっても随分と状態が変わります。まだまだ、完全にメンテナンスフリーといえる性能には達していませんが、コーティング加工により少しでも洗車の負担が減り、そして愛車の素晴らしい光沢が、少しでも長く維持できましたら幸いです。